

Setouchi Architourism

日本の瀬戸内海とその周辺は自然の美しさで知られています。温暖な気候、澄んだ水、ひっそりとした島々は、数百年にわたって人々を瀬戸内地域へ惹きつけてきました。しかし、単に美しい風景以上の観光客に提供できる魅力が、瀬戸内海にはあります。

せとうちエリアには、日本や世界の建築家が設計を手がけた現代建築が散在しています。それぞれの建物そのものも見事な建築学上の偉業ですが、その場所の景観を引き立てることも考慮して設計されています。これらの街にあるこうした建築は、鎌倉時代（1185-1333）にまで遡る神社仏閣と共に、ありふれた風景の中に潜む申し分のない観光スポットです。

優れた建物は常にその建物を使用する地域の人々の暮らしを考慮に入れているので、建築は地域の文化を知るのにうってつけの方法です。建築を通して瀬戸内海の文化と歴史を学ぶのに、特別な訓練は必要ありません。風景を味わうように、誰でも瀬戸内の建築を味わうことができます。必要なのはとっかかりだけで、「せとうちアーキツリズム」プロジェクトは、そのとっかかりになることを目的としています。瀬戸内海への旅行計画の一助としていただき、旅行をより楽しんでいただくために、新旧織り交ぜたユニークな建物の概要を以下にまとめました。